

安全かつ快適な移動を実現するための道路整備

～市町村合併支援道路事業など地域内の拠点等を効率的に連絡する道路整備により、日常生活の中心となる都市まで 30 分以内で安全かつ快適に走行できる人口（安定到達率）が約 60 万人増加～

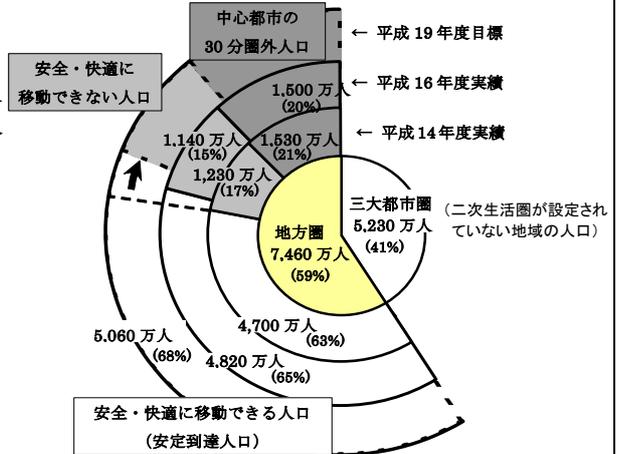
(1) 指標の動向

■日常生活圏内の移動の安全性・快適性向上を目指す

本指標は、日常生活の中心となる都市まで、改良された道路を利用して 30 分以内で安全かつ快適に移動できる人の割合（安定到達率という。）を表す（平成 14 年度 63%）。（二次生活圏が設定されている地域のみが指標の対象）

■平成 16 年度に目標としていた 65%に向上

■平成 17 年度目標は 66%に設定



【安全・快適に中心となる都市まで移動できる人口の状況】

【安定到達率の目標値と実績値】

H14 実績	H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
63%	64%	65%	65%	66%	68%

【ブロック別の安定到達率の増加】

ブロック	日常活動圏人口(万人)	平成15年度		平成16年度		増加	
		安定到達人口(万人)	安定到達率	安定到達人口(万人)	安定到達率	安定到達人口(万人)	安定到達率
北海道	567	409	72.1%	414	73.1%	5.8	1.0%
東北	981	620	63.2%	630	64.2%	10.0	1.0%
北陸	471	301	63.9%	304	64.6%	3.2	0.7%
関東	1,396	843	60.4%	850	60.9%	6.6	0.5%
中部	851	525	61.7%	533	62.6%	7.7	0.9%
近畿	598	377	63.0%	384	64.2%	7.0	1.2%
中国	767	460	60.0%	464	60.5%	3.5	0.5%
四国	412	257	62.2%	261	63.4%	4.9	1.2%
九州	1,305	890	68.2%	900	69.0%	10.3	0.8%
沖縄	119	77	64.3%	79	66.7%	2.9	2.4%
合計	7,467	4,758	63.7%	4,820	64.5%	61.9	0.8%

(2) 達成度報告(昨年度の成果)

■安定到達人口約 60 万人増加で 8 割の達成度

平成 16 年度の安定到達率は目標としていた 65% に向上したが、安定到達人口の増加は数で見ると約 60 万人と、目標の約 80 万人に対し、昨年同様、約 8 割の達成度に留まった。理由としては、平成 16 年度においても、厳しい財政状況による地方の事業量の減少等を要因として有効な路線の供用に一部遅れが見られたと考えられる。

■市町村合併を支援する道路整備を推進

安定到達率向上のため、市町村合併支援事業（206 地域）を推進した結果、同事業を実施する生活圏の安定到達人口の増加は、約 14 万人（増加人口の 22%）を数えた。

■ブロック別の安定到達率(右図)

安定到達率の増加が大きいブロックは、人口あたりの平成 16 年度供用延長割合の比較的高い北海道、東北、近畿、四国、沖縄であった。

(3) 業績計画(今後の取組み)

■目標達成に向け、効率的な事業実施を図る

平成 19 年度の目標値（安定到達率 68%）の達成に向け、平成 17 年度の目標値を 66% に設定する。

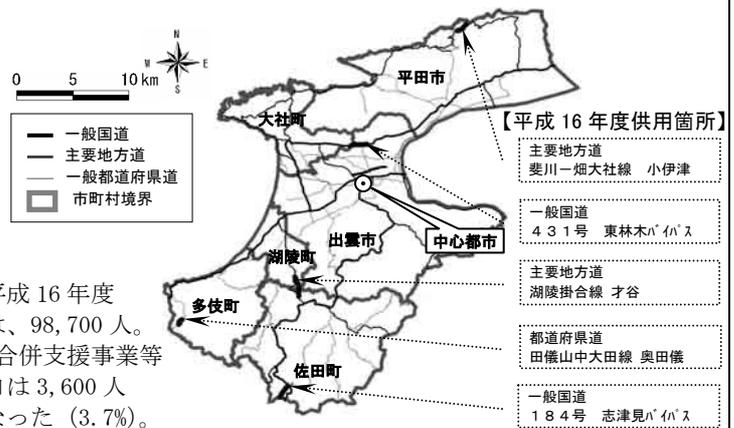
平成 17 年度も引き続き、1.5 車線の道路整備の積極的な採用等による効率的な事業の推進や、市町村合併支援道路整備など地域内の効果的なネットワークの形成に寄与する事業の推進等により、目標の達成を目指す。

平成 16 年度の施策の事例「市町村合併支援事業」

平成 17 年 3 月に、島根県の 2 市 4 町（出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町）が合併し「出雲市」が誕生。



島根県・出雲市の平成 16 年度当初の安定到達人口は、98,700 人。平成 16 年度の市町村合併支援事業等により、安定到達人口は 3,600 人増加し 102,300 人となった（3.7%）。



担当：道路局 地方道・環境課